

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

「運転中止・要介  
リスク倍、外出減り健  
康に悪影響か」の見出  
しで、車の運転をやめ  
て自由な移動手段を  
失った高齢者は、運転  
を続けている人と比

べ、要介護状態になる  
リスクが2・2倍にな  
る研究結果を信濃毎日  
新聞が伝えた。また海  
外の研究でも高齢者が  
運転をやめると、うつ  
状態になるリスクが約  
2倍になるなど心身の  
健康を損ない、社会参  
加も減ると  
いった悪影  
響も併せて  
紹介した。

社会実装という言葉  
を最近よく聞くように  
なった。実験段階を超  
えて新しい技術や事業  
などを社会に導入する  
事を指す言葉だが、実  
現を期待する自動運転  
も社会実装の途上だ  
が、運転する人間の健

康面での対応も今後大  
きな課題になって行く  
のだろう。  
日本農業新聞のコラ  
ム四季さんが、年を  
取って視覚が怪しくな  
ると、聞き違いが増え  
るらしい。「汚職事件」  
を「お食事券」に間違  
え、3分の1の値段  
は「サンドイッチの値  
段」に、冗談のような  
話だが、阿川弘之さん  
の著書の一部を紹介し  
た。勘違いでは、農相  
経験の政治家が生前、  
輸入急増にブレーキを  
かける「セーフガード」

を「政府ガード」と思  
い込むなど高齢化と  
は、なにかと覚悟が必  
要なのだろうか。  
8月下旬、松本市中  
央公民館で開催され  
た、行政相談員中信地  
区ブロック会議に出席  
する。10月7日から13  
日を「やさしい日本語」  
の持つ意  
味を噛みしめる。「や  
さしい日本語」は、外  
国人にわかりやすい日  
本語として、災害が起  
きたときに有効な言葉  
として考案されたもの  
だ。作成ルールは四  
つ。難しいことばを避  
け、簡単な語彙を使う。  
(語彙は同類の意味を  
持つ集まりの意味だ)。  
一文を短く、文の構造  
を簡単にする。二重否  
定は避ける。日常的な  
日本語ができる日本語  
能力3級か4級の言葉

## 「やさしい日本語」は、今後 ますます求められる知識だ

与える有様。  
い(易)は、  
すぐできる  
(わかる)。

日までの「行政相談週  
間」に対応するための  
内容が主な議題だ。長  
野行政監視行政相談セ  
ンターは、日ごろから  
多くの相談業務を受け  
ているためか、出席者  
に分かりやすい内容が  
好印象だった。毎日の

を使う。外国人に限ら  
ず、重要な視点だと考  
えさせた会議でもあっ  
た。  
(NPO法人信州地域  
社会フォーラム理事・  
白馬村森上)



講演は「消費税の軽減税率について」  
身近な話題が講義を充実させる